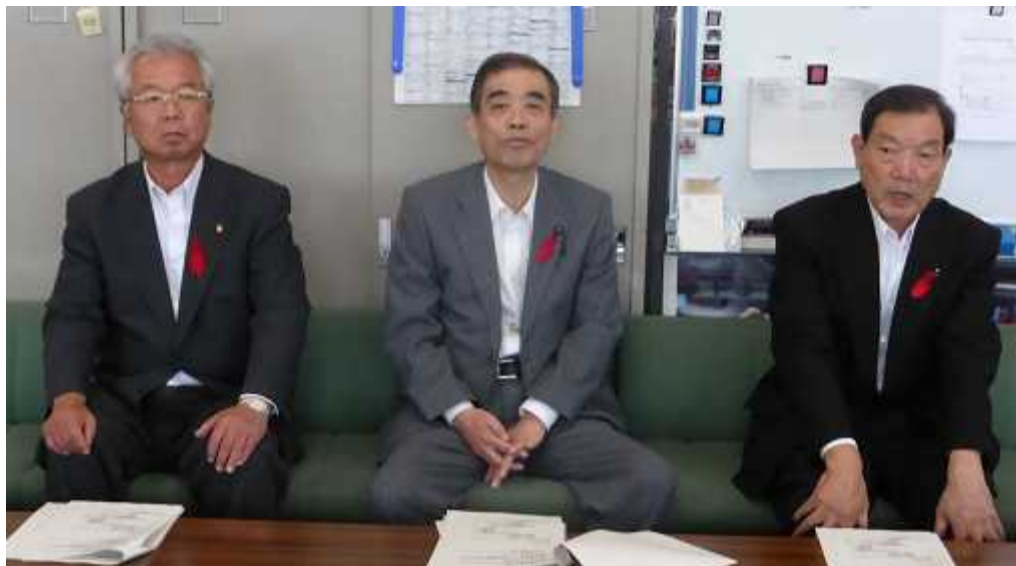


◆ 議長記者会見概要

日 時：平成27年10月9日（金）14：30～14：40

場 所：県政記者クラブ（県庁内）

出席者：中村 昭議長、山本 進章副議長、荻田義雄広報委員会座長



山本 進章副議長

中村 昭議長

荻田義雄広報委員会座長

〈案件〉

（1）議員報酬削減にあたって

議員報酬の削減が、県議会の全会派の賛同を得て可決しました。

議員の報酬月額が70万円となり、大阪府、滋賀県に次いで、全国で3番目に低い額となります（平成27年4月時点）。削減額は、現議員の残任期（約42ヶ月）の合計で、約1億4600万円となります。

議員自らの身を削る議会改革を実現したことで、県民のみなさまの期待に、一部ではありますが、応えられたと自負しています。

これからも、議員定数等々議会が抱えている問題について、一致団結して取り組んでいきたいと思えます。

（2）関西広域連合について

県が関西広域連合に加入すれば、12月定例会で連合議会議員3名を選出するわけですが、議員は任期を2年とし、選出方法は、議長一任（指名推選）とすることとしました。

また、議員は理事を互選すること、常任委員会への配分は、産業環境常任委員会に2名、防災医療常任委員会に1名とすることとしました。

(3) 議会改革について

議会改革の一つでもあります議員報酬の削減を、全会派一致で議決をし、合わせて約1億4600万円を捻出できました。このうえは、知事におかれては、少子高齢化、医療にかかる費用の分配も含めて、しっかりとご対応いただきたいと思っています。

次には定数削減、政務活動費が出てくるかと思えます。こういったなかで、検討会や勉強会をして議会改革を一層前へ進めていくことが、私たち議員のこれからの努めではないかと思っています。

<質 疑>

記 者；議員報酬の値下げが、議員提案で行われるのは初めてですか。

山本副議長；以前に4人で30%引き下げの議員提案をさせていただき、その時は否決になりました。

今回は、維新の党からまず提案をされまして、自民党奈良、創生奈良、日本共産党、自民党絆と合意し、その後、自由民主党、民主党、公明党が賛同し、全会派がまとまった、という経緯です。

記 者；議会としては、議員提案で初めてですか。

山本副議長；他の条例は、議員提案があります。

中村議長；このような性格のものは、いいことなのですが、なかなか全会一致とはいかないのです。しかし、今回は各会派のみなさんのご理解を得て決定したということです。

記 者；議員定数の話が次に出てくるということですが、一人区などの問題がまず出てくるのですか。

荻田座長；今日の各派連絡会で、そのようなことも次の議題として挙げていけばどうか、という話でございます。私たちの任期は、あと3年余りありますから、その間にきっちりとした方向を見つけていければ、と思っています。

記 者；関西広域連合への議員3人の選出は、議長が決められるのですか。

中村議長；議長一任をいただいております。

記 者；どのような基準で選ばれるご予定でしょうか。

中村議長；やはり意欲のある個人と、意欲を持たれている会派、関西広域連合が奈良県にとってプラスになる、そのような役割ができる人、そういう選定基準です。12月議会ですので、これからじっくりと考えます。